# 7号機排気筒からの放射性物質の放出にともなう監視強化の概要

7月16日の中越沖地震の発生に伴い7号機排気筒から放射性よう素等の放出があったことから、同排気筒及び周辺監視区域境界付近における放射性よう素及び粒子状物質の測定を毎日実施することとし、いずれも7月18日より開始した。

## 測定結果

### 7号機排気筒における放射性よう素及び粒子状物質の放出状況

採取期間	放射性よう素	粒子状物質
7/9 ~ 7/17	約3×10 <sup>8</sup> ベクレル	約2×10 <sup>6</sup> ベクレル
7/17 ~ 7/18	約2×10 <sup>7</sup> ベクレル	検出されず
7/18 ~ 7/19	検出されず	検出されず
<u>7/19 ~ 7/20</u>	検出されず	検出されず
合計	約 4×10 <sup>8</sup> ベクレル	約2×10 <sup>6</sup> ベクレル

#### 周辺監視区域境界付近における放射性よう素及び粒子状物質

採取	MP-1 付近		MP-5 付近		MP-8 付近			
期間	放射性よう素	粒子状物質	放射性よう素	粒子状物質	放射性よう素	粒子状物質		
7/18	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
7/19	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
7/20	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
7/21	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		

# (参考)7号機原子炉停止後の原子炉水中よう素濃度の測定結果

運転中の原子炉よう素 131 濃度は、 $3 \times 10^{-2}$  Bq/g 程度の通常値で推移していること、また、停止後採取の原子炉水よう素 131 濃度は、 $9 \times 10^{-3}$  Bq/g と低いこと、更に地震に伴う緊急停止時前後の高感度オフガスモニタ指示値が低下していることから放射性よう素の放出の要因として燃料の損傷によるものは考えられない。